

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第 65 回理事会議事録

日 時:令和 4 年 5 月 27 日(金) 15:00~17:00

開 催:web 会議

出席者:大賀 正一(理事長)、米田 光宏、滝田 順子(以上副理事長)、小川 千登世、
高橋 義行、多賀 崇、奥山 宏臣、淵本 康史、菱木 知郎、藤 浩、盛武 浩、
松本 公一、井上 健、康 勝好、塩飽 仁、天野 功二(以上理事)
檜山 英三(以上監事)
真部 淳(第 65 回学術集会会長)
足立 壮一(JCCG 理事長/第 66 回学術集会会長)
余谷 暢之(オブザーバー)

(事務局は東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバン 4 階にて参加)

欠 席 者:滝 智彦、西川 亮(以上理事)、越永 従道(第 64 回学術集会会長)、

議長:大賀理事長

本日の理事出席者は 18 名中 16 名で、定款施行細則第 8 条第 3 項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認して、以下の議案について逐次審議に入った。

I. 前回理事会議事録(案)の確認

議長より、前回議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の松本理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者 31 名が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. 2021 年度決算報告について

庶務・財務委員会 松本担当理事より、資料を元に令和 3 年度(2021 年度)の決算書類が示され、公認会計士監査、並びに、檜山監事による会計監査が行われたことが報告され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

3. 2022 年度予算案について

庶務・財務委員会 松本担当理事より、資料を元に令和 4 年度(2022 年度)の予算案が示された。委員会事業費の「教育セミナー、緩和ケア研修開催費」について、22 年度は地区セミナー 5 件、CLIC の 1 件の現地開催を実施するため、300 万円に増額することを含め、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

4. 2021 年度事業報告について

大賀理事長より、2021 年度(令和 3 年度)事業報告案が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

5. 2022 年度令和 4 年度事業計画について

大賀理事長より、2022 年度(令和 4 年度)事業計画書案が示された。2022 年度予算案の委員会事業費の「教育セミナー、緩和ケア研修開催費」の増額に伴い、「教育・研修、並びに資格認定事業」の支出見込み額が 670 万円に増額することを含め、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

6. 新規評議員について

評議員等資格審査 井上担当理事より、資料をもとに、本年度の評議員申請者 13 名について、委員会審査がなされ、全員が資格を満たしていると判定したとの報告があり、議場に承認が求められたところ、異議なく承認された。

7. 投稿規定の変更について

学会誌編集委員会 滝田担当理事より、投稿規程の一部変更が報告され、議場に承認が求められたところ異議なく承認された。修正箇所は以下の通り。

〈著者負担費用〉

編集協力費：論文掲載決定後、論文1編につき 3,000 円を申し受ける。ただし、依頼総説や講演記録などの依頼原稿および本学会の委員会報告では無料とする。

8. 資格認定、更新のための学術集会、研修会、セミナーなどの承認基準および研修単位基準の改訂について

専門医制度委員会 米田担当理事より、更新猶予の扱いについて、委員会審議により新たに以下の 3 点を定めることが報告され、議場に承認が求められたところ、異議なく承認された。

1. 更新猶予期間は専門医また指導医の扱いについて
→「猶予期間」は、「専門医」「指導医」として扱わない
2. 1 年の更新猶予後の更新申請の該当単位期間
→経験症例や研修単位の該当期間は 6 年間とする
3. 失効後の復活措置について
→2021 年以降は更新猶予申請が必要とし、2021 年以前のケースについては理由を確認した上で委員会審議とする。

9. 日本専門医機構サブスペシャリティ領域 新規認定審査について

専門医制度委員会 米田担当理事より、日本専門医機構による審査の結果、小児血液・がん専門医のサブスペシャリティ領域専門医新規申請は認められなかったことが報告された。また、専門医機構では今後、サブスペシャリティ領域検討委員会のもとにワーキンググループが設置され、外形基準や認知度などの認定基準を満たさない小児科系サブスペ領域、横断的または技術的な国民医療のために必要なサブスペ領域の扱いについてなど、学会認定・機構承認のサブスペ領域専門医制度の認定と認定基準の在り方に関わる論点について検討されることが併せて報告された。

10. 「公益信託日本白血病研究基金」学会推薦について

大賀理事長より、「公益信託日本白血病研究基金」学会推薦枠に応募のあった 山本俊亮先生(九州大学)について、議場に承認が求められたところ、異議なく承認された。

11. 学会テキスト、及び、臓器別ガイドラインの HP 掲載について

大賀理事長より、学会編集テキスト「小児血液・腫瘍学第 2 版」、「成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン第 3 版(日本癌治療学会/日本臨床腫瘍学会/日本小児血液・がん学会)」の学会 HP への掲載について、議場に承認が求められたところ、異議なく承認された。

12. 日本小児血液・がん学会 役員選挙結果について

2022 年度に実施した役員選挙、理事長選挙結果について選挙管理委員会より資料によって議場に示され、候補者は 2022 年 7 月 1 日の定時社員総会にて選任されることが承認された。

報告事項

1. 第 64 回学術集会について

第 64 回学術集会にて 11 月 26 日に JSPHO&JCCG 特別企画ジョイントシンポジウムを「小児血液・がん領域の臨床研究の進め方」というテーマで開催を検討・調整中であることが報告された。なお、同企画は疾患登録と疫学研究の現状・今後の課題について確認するもので、JCCG と連携し、今後数年間にわたり学術集会の取り組みの一つとして継続実施する予定である。

2. 第 66 回学術集会について

足立会長より、第 66 回学術集会(2024 年 / 京都)の開催日程について、他学会の日程と調整しながら検討中であることが報告された。

3. 診療ガイドライン委員会報告

診療ガイドライン委員会の多賀担当理事より、下記について報告がなされた。

- ①小児白血病・リンパ腫診療ガイドラインおよび小児がん診療ガイドライン 2016 年版改訂について
- ②3 件の転載許諾請求(いずれも医学書への転載)に対応について

4. 教育・研修委員会報告

教育・研修委員会の盛武担当理事より、下記の通り報告がなされた。

(1)教育セミナー

日時:2022 年 7 月 3 日(日)午後 1 時から午後 5 時まで

開催方法:Web 開催

非横紋筋肉腫軟部肉腫	宮地 充 先生(京都府立医科大学小児科)
固形腫瘍の分子生物学	大喜多 肇 先生(慶応大学病理診断科)
骨腫瘍	川井 章 先生(国立がんセンター中央病院希少がんセンター)
慢性骨髄性白血病	遠野 千佳子 先生(岩手県立中部病院小児科)
血液疾患の分子生物学	柴 徳生 先生(横浜市立大学附属病院輸血細胞治療部)
緩和・社会支援	多田羅 竜平 先生(大阪市立総合医療センター緩和ケアセンター)

企業共催セミナー:中外製薬株式会社

「小児固形癌におけるゲノム医療の現状と展望」

村松 秀城 先生(名古屋大学大学院医学系研究科小児科学)

(2)第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会・教育セッション

開催方法:オンデマンド配信のみ

配信日程:後日、決定

配信概要:30 分間、1 枚のキーワードスライドを挿入

講演名	講師
横紋筋肉腫	木下義晶先生(新潟大学小児外科)
脳腫瘍(グリオーマ)	寺島慶太先生(国立成育医療研究センター小児がんセンター脳神経腫瘍科)
急性骨髄性白血病	富澤大輔先生(国立成育医療研究センター小児がんセンター)
再生不良性貧血	吉田奈央先生(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院小児科)

腎腫瘍	澤田明久先生(大阪母子医療センター血液腫瘍科)
放射線診断	野澤久美子先生(神奈川県立こども医療センター放射線科)
疫学	中田佳世先生(大阪国際がんセンター がん対策センター)

(3) 2021 年度地区セミナー報告

地区	日程(2022年)	参加人数	開催方法	単位申請者数	単位認定者数
北海道	3月12日	58	Web	34	33
東北	3月19日	126	Web	65	61
関東	2月26日	117	Web	30	22
中部北陸	2月8日	95	Web	69	67
関西	2月12日	154	Web	77	71
中国四国	1月22日	144	ハイブリッド	114	111
九州	1月9日	106	Web	58	56

(4) 2021 年度 CLIC 開催報告

開催日	2021年7月3日	2021年10月2日	2022年3月5日
総応募数	41	43	42
受講者数	39	38	36
受講証発行数	39	37	34
小児血液がん学会会員	33	29	20
日本緩和医療学会会員	0	1	4
非会員	6	11	15

5. 専門医制度委員会報告

専門医制度委員会の米田担当理事より、以下の報告がなされた。

(1) 小児がん認定外科医について

2022年より、がん治療認定医資格を取得していない場合、がん治療認定医機構のwebセミナーを受講し、小児がん認定外科医試験に合格すれば新規認定されることが報告された(がん治療認定医機構のセミナーに準じ、webセミナーも5年間の有効期限とする)。

(2) 専門医更新

- ・更新対象者 29名のうち、27名の更新審査を行った。
- ・国際学会の研修単位について
細則第6条に記載のない国際学会についても、委員会が認めた場合は研修単位として認められることとなった。(5単位の認定となる)

(3) 指導医更新

4名全員が適格と判定された。

(4) 認定外科医更新

18名の更新対象者のうち、14名の更新申請があり、12名が適格と判定された。

(5)研修集会

11 件の更新申請があり、全ての研修集会が適格と判定された。

(6)試験問題作成について

新たに専門医となった 63 名の先生により、新たな試験問題を作成中であり、6 月 4 日、5 日にブラッシュアップ委員会を実施予定である。

(7)2022 年度認定医「新規申請者数」(2022 年 6 月審査予定)

専門医 49 名(予定)

指導医 13 名

認定外科医(がん治療医認定医あり)14 名

認定外科医(がん治療医認定医なし)8 名

研修集会 3 施設

研修施設群 105 施設申請⇒105 施設認定(親 22、子 61、子 22)

6. Japan Cancer Forum 2022 について

社会広報委員会 高橋担当理事より、Japan Cancer Forum 2022 での JCCG との共催セッションについて以下の通り報告された。

【Japan Cancer Forum 2022 JCCG&JSPHO 共催セッション】

開催日時:2022 年 8 月 6 日(土)13:00~14:45

<挨拶>

最初のご挨拶 大賀正一 医師

まとめのご挨拶 足立壯一 医師

<司会>

前半:松本公一 医師

後半:高橋義行 医師

<演者>

福島啓太郎 医師(獨協医科大学):新型コロナウイルスと小児がん①医療面から

天野香菜絵 CLS(埼玉県立小児医療センター):新型コロナウイルスと小児がん②実際の療養面から

小川千登世 医師(国立がん研究センター中央病院):小児がんのドラッグラグについて

7. 保険診療委員会報告

保険診療委員会 小川担当理事より、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」に申請していた 1 件の薬剤の保険適用が認められたことが報告された。

8. KSPHO 日韓合同セッションについて

国際委員会 菱木担当理事より、2022年 KSPHO 日韓合同セッションについて、今年は「Germ Cell Tumor」をテーマとして開催することが報告された。日本からの演者は疾患委員会からの推薦が恒例であるが、テーマが固形腫瘍のため固形腫瘍検討委員会に諮り、JCCG 胚細胞腫瘍委員会と JCCG 脳腫瘍委員会の委員長に依頼する方針となった。

なお、韓国からの推薦演者は以下の通り。

First speaker:

Professor Kyung-Nam Koh, Department of Pediatrics, Asan Medical Center(intracranial germ cell tumor)

Second speaker:

Professor Seung Min Hahn, Department of Pediatrics, Yonsei University
(extracranial germ cell tumor)

9. 長期フォローアップ・移行期医療委員会報告

長期フォローアップ・移行期医療委員会 松本理事より、以下について報告された。

- (1)小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業の令和3年度事業報告
- (2)令和4年度委託費交付申請について
- (3)LCAS研修について

2022年度は、7月3日、8月20日、12月17日、2023年2月18日に実施予定

10. 遺伝性腫瘍委員会報告

遺伝性腫瘍委員会 大賀理事より、「成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン第3版」の学会HPへの掲載予定について報告された。

11. 女性医師活躍支援委員会報告

女性医師活躍支援委員会の滝田理事より、以下2点について報告された。

- (1)女性医師支援の就職情報ネットワーク整備のためのアンケートを実施
- (2)第64回学術集会で女性医師活躍支援委員会(第二回)特別企画「女性医師キャリア支援セッション」を企画中

理事長報告

1. 「第31回日本医学会総会奨励賞」候補者推薦について

学会推薦について学会HPで公募を行い、理事会にて審議の後、推薦を行うことが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び理事がこれに記名押印又は署名する。

令和4年5月27日

日本小児血液・がん学会 第65回理事会

理事長 大賀正一 ㊟

監事 檜山英三 ㊟